

八雲町立野田生中学校 沿革誌

昭和	22年	4月	落部村立落部中学校野田追分校が開校	
		5月	八雲町立八雲中学校野田生分校、山越内分校が開校	
	23年	4月	野田生分校・山越分校がそれぞれ八雲町立野田生中学校・山越内中学校として独立	
	24年	7月	山越内中学校の新校舎（2教室）が完成	
	25年	4月	野田追分校が落部村立野田追中学校として独立	
	31年	5月	山越内中学校が山越中学校と改称	
	32年	4月	落部村が八雲町に合併し、落部村立野田追分校が八雲町立野田追中学校と改称（町内に野田生中学校と野田追中学校が存続することになる。）	
	34年	4月	野田生・野田追両中学校が統合し、仮称野田生中学校として北仮校舎(旧野田生中学校)、南校舎(旧野田追中学校)で授業開始	
		5月	新校舎が完成、移転(校名は、八雲町立野田生中学校と決定)	
		12月	新校舎落成式	
	39年	12月	体育館落成式	
	50年	4月	桜野中学校と野田生中学校を統合(八雲町立野田生中学校桜野分校となる。翌年、八雲町立野田生中学校となる。)	
	63年	9月	創立40周年、統合30周年記念式典・祝賀会	
		第5回発達科学研究教育奨励賞受賞		
平成	元年	7月	通信陸上競技全国大会 3年 神尾こずえ 第4位	
		10月	全道中学校駅伝大会出場(土別市) 7名	
	2年	11月	「花いっぱい運動の花壇コンクール」最優秀賞	
	3年	6月	P T A 研修旅行(松前)	
		7月	中体連北地区球技大会ソフトボール主管	
		8月	体育館外壁および照明増設工事、花壇コンクール最優秀賞	
	5年	4月	山越中学校と野田生中学校が統合(八雲町立野田生中学校となる。)	
		10月	文部省指定道徳教育推進校研究発表大会	
	6年	2月	渡島管内教育実践表彰受賞	
	7年	10月	環境美化教育実践優良校受賞	
	8年	1月	毎日新聞社中学校作文コンテスト学校賞受賞	
		9月	校門完成	
		10月	学校花壇コンクール3年連続最優秀賞受賞	
		11月	第1回ふみの日手紙コンクール学校奨励賞受賞	
	9年	3月	新校舎が竣工	
		6月	コンピュータ機器35台導入	
		12月	グラウンド造成と体育館が竣工	
	10年	2月	校舎落成・創立50周年・統合記念式典開催	
		10月	海外派遣 生徒2名派遣	
		11月	町P連研究大会開催(280名参加)、渡島進路指導研究大会授業公開	
	12年	7月	全道陸上競技大会出場	
		11月	H B C 合唱コンクール全道大会出場	
	14年	7月	中体連柔道全道大会出場	
	18年	8月	北海道中学校陸上競技大会 1年 中村大紀君 3位	
	19年	8月	北海道中学校陸上競技大会 2年 中村大紀君 1位	
	20年	8月	全国中学校陸上競技大会出場3年 中村大紀君(砲丸投げ)	
	21年	11月	渡島教育研究会八雲大会 公開授業(社会・英語)	
	22年	8月	北方領土学習参加(根室市) 2年 玉山 大貴 2年 竹本 遥香	
		10月	渡島英語暗唱大会 優秀賞 3年 川村 萌歌	
	23年	4月	学校教育目標改訂、校訓制定	
		10月	町P連研究大会開催(170名参加)	
	24年	8月	ホームページ新設	
	25年	3月	都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会出場 2年 宮本 実侑	
8月		北海道中学校ソフトボール大会優勝(野田生・七飯中合同チーム)		
		全国中学校ソフトボール大会出場(野田生・七飯中合同チーム)		
12月		1年北方領土外部講師授業(道庁北方領土対策本部主催)		
27年	1月	北方領土学習会(千島歯舞諸島居住者連盟函館支部 坂上範夫氏)		
28年	8月	全国中学校ソフトボール大会出場(野田生・七飯中合同チーム)		
31年	3月	創立70周年記念祝賀会(同窓会主催)		
		北海道教育委員会教育長佐藤嘉大氏来校		
令和	元年	6月	スターライトファンタジー点灯式	
		2月	北海道教育庁指導監督鈴木淳氏来校	
	3年	1月	一人一台端末(クロームブック)導入	
		5月	修学旅行(岩手県盛岡市肴町商店街)にて、地元P R 特産品販売体験	
		9月	文部科学省 GIGAスクール 南極特別講座 参加	
	4年	4月	1日	第26代校長 増田正弘氏 着任
				普通学級3が認可される。
		9月	24日	スターライトファンタジー 花火大会(スターライト実行委員会主催)
		10月	1日	特別支援学級1(知的)が認可される。
		11月	10日	防火水槽移設工事完了
12月	19日	八雲町確かな学び推進会議読解力向上推進チーム全体研修会 英語 公開授業 北海道教育大学旭川校 渥美 伸彦氏 講演		